

V 標準化会議の事業計画

1. 事業概要

標準化会議は、会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。国内標準化活動では、JIS、JASO 及び JSMA 規格の制定及び改正原案作業に取り組む。国際標準化活動では、ISO/TC227ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、日本提案の ISO/FDIS 19690-2「皿ばね 第2部：技術仕様」の発行段階への移行を目指す。また、ドイツから提案されたばねの試験法が始まったので、エキスパートと共に積極的に参画し、日本の考えを最大限に取り入れた規格開発を目指す。9月にドイツのベルリンで開催される第14回 ISO/TC227ばね国際会議に参加し、ISO 規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

平成30年度は重ね板ばね4規格の内、2規格の改正作業を予定している。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に例年どおり参加する。なお本年度は、ばねに関連したホースクランプ分科会が設置され、日本ばね工業会から幹事1名委員4名が参画予定である。

③ JSMA 規格関係

標準化会議の4部会が共に年間1から2規格の改正原案作成作業を行う。

(2) ISO 規格関係

① ISO/TC227ばね関連の国際標準化活動

1) 第14回 ISO/TC227国際会議

9月27日及び28日、ドイツのベルリンで開催予定の国際会議に参加し、以下の議案審議をする予定。

・ドイツ提案のばねの試験法

② 政府制度の活用

以下の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

1) 国際幹事国際会議派遣事業

2) 上記 第14回 ISO/TC227国際会議対応